ファームウェア変更に関するご注意

以下に説明する操作は、カメラからレンズを取り外した状態で行ってください。
電源にはフル充電した専用バッテリーパック、または、ACアダプターキットACK-E2を使用してください。
ファームウェアの変更中は、絶対にカメラおよびWFT-E1のメインスイッチをOFFにしないでください。家庭用電源を使用する場合は、停電に十分ご注意ください。
ファームウェアの変更中は、CFカードスロットカバーを開けたり、ボタン・ダイヤル・スイッチなどの操作を行わないでください。
ファームウェアの変更中は、絶対にカメラとWFT-E1の接続ケーブルを抜かないでください。

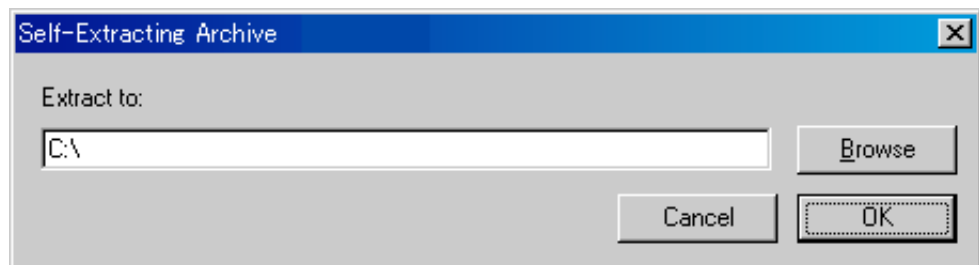
WFT-E1 ファームウェア変更手順

(1)ホームページからファームウェア変更ファイルをダウンロードする。

このページの末尾からファームウェア変更ファイルをダウンロードすることができます。

お客様のコンピュータのOSの種類に合わせて、圧縮された自己解凍形式ファイルをダウンロードしてください。

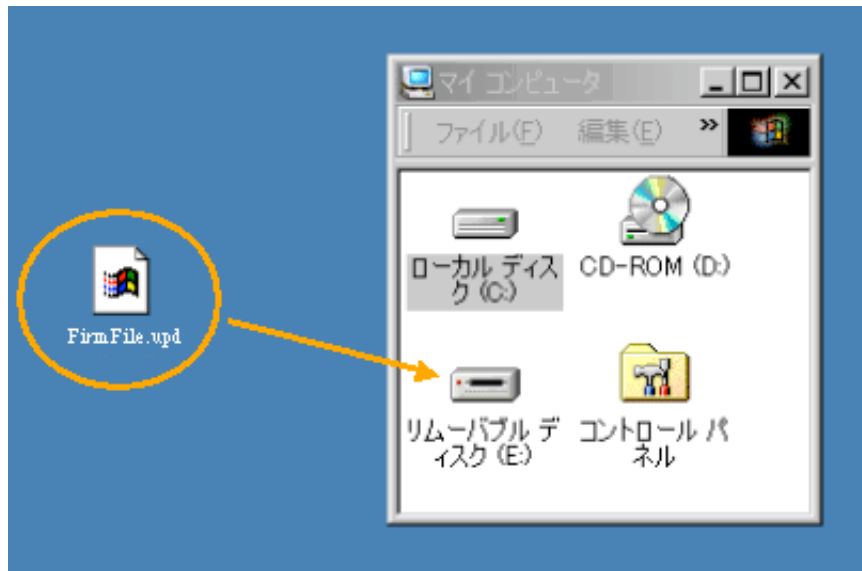
Windowsの場合

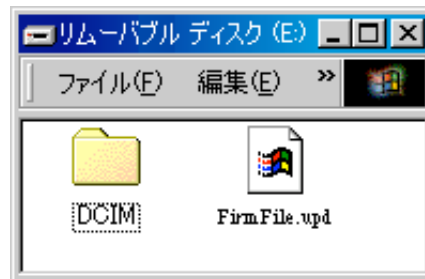
ダウンロードしたファイル"wfte1201.exe"をダブルクリックします。

"OK"をクリックすると、ダウンロードしたファイルが解凍され、ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"が生成されます。（"Browse"をクリックすると、解凍先を選択できます。また、表示されるパス"C:＼"は、解凍先により異なります）

生成されたファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"のファイル容量は、1.74MBです。

もし、ファイル容量が相違する場合は、ファームウェア変更ファイルをもう一度ホームページからダウンロードし直してください。

ファイル容量は、ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"のアイコンを右クリック、”プロパティ”の”サイズ”を選択することにより確認できます。

EOS 20Dであらかじめ初期化したCF カードを、カードリーダーに挿入し、生成されたファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"をCFカードにコピーします。

ディスク番号(E:)は、お客様の環境により異なります。

CFカードのアイコン（"リムーバブルディスク(E:)"）をダブルクリックします。

ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"が保存されていることを確認し、CFカードをカードリーダーから取り出します。

※CFカードをカードリーダーから取り出す際は、パソコン、あるいはカードリーダーの取扱説明書に従って行ってください。

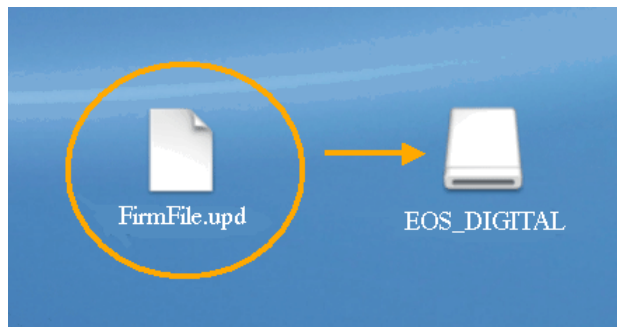
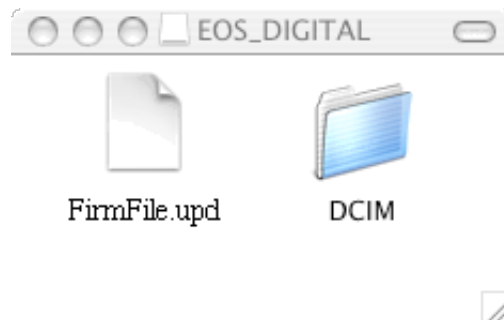
Macintoshの場合

ダウンロードしたファイル"wfte1.fir.sit"は、自動的に解凍され、ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"が生成されます。

生成されたファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"のファイル容量は、1.7MBです。

もし、ファイル容量が相違する場合は、ファームウェア変更ファイルをもう一度ホームページからダウンロードし直してください。

ファイル容量は、ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"のアイコンを選択したあと、”ファイル”メニューの”情報をみる”を選択することにより確認できます。

EOS 20D であらかじめ初期化した CF カードを、カードリーダーに挿入し、生成されたファームウェア変更ファイル"FirmFlie.upd"をコピーします。

CFカードのアイコン（"EOS_DIGITAL"）をダブルクリックします。

ファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"が保存されていることを確認、CFカードをカードリーダーから取り出します。

※CFカードをカードリーダーから取り出す前に、"EOS_DIGITAL"を選択し、ファイルメニューの""EOS_DIGITAL"を取り出し"を選択するか、"EOS_DIGITAL"をゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。

※コンピューターのハードディスクに入っているファームウェア変更ファイル"FirmFile.upd"を、CFカードを開いたすぐの場所（ルートディレクトリ上）にコピーします。

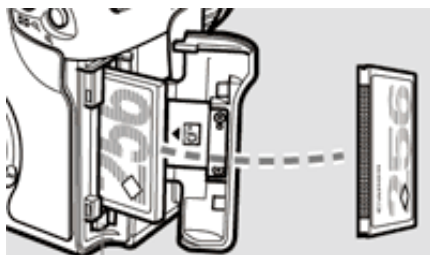
※CFカードのフォルダ内にはコピーしないでください。フォルダ内に入れると、カメラがファームウェア変更ファイルを見つけられません。

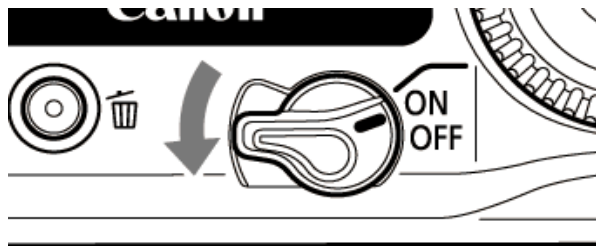
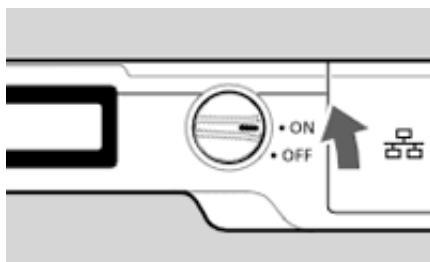
(2)カメラとWFT-E1を接続します。

WFT-E1とEOS-20Dの電源をOFFにします。

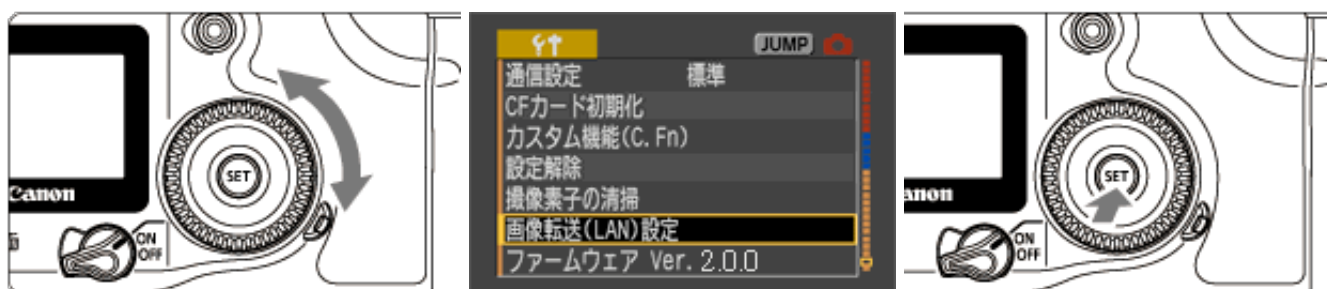
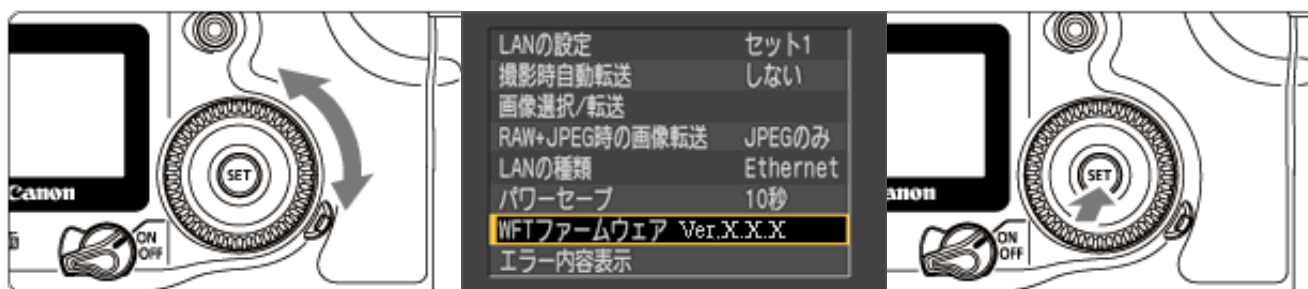
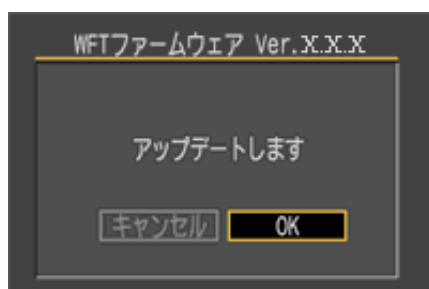
WFT-E1とEOS-20Dを接続します。USBケーブルのプラグをWFT-E1とEOS-20DのUSB端子に接続します。

(3)ファームウェア変更ファイルが入ったCF カードをEOS 20Dにセットし、メインスイッチをONにします。

EOS-20Dにファームェア変更ファイルが入ったCFカードをセットします。

カメラのモードダイヤルを回転し、<P>モードなどの「クリエイティブな応用撮影ゾーン」に設定します。

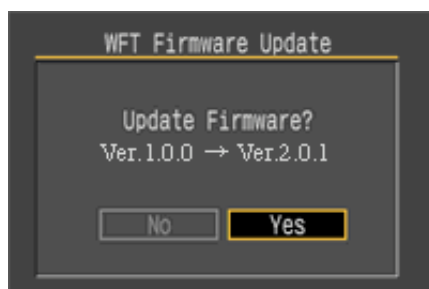
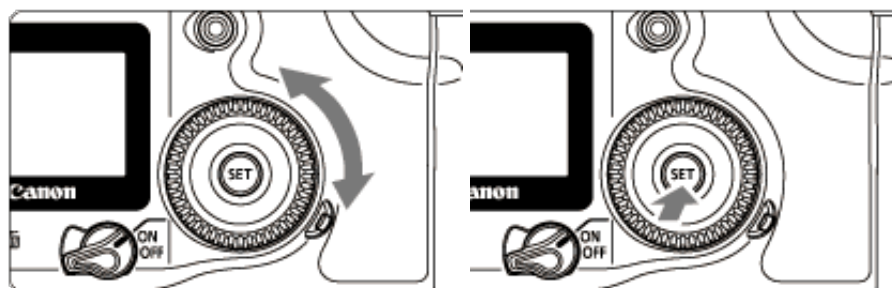
カメラの電源をONにします。

WFT-E1の電源をONにします。

WFT-E1の表示パネルに"ERROR"(エラーコードは60番台又は81番です)が表示されるのを待ちます。

(4) 「WFT ファームウェアVer.x.x.x」を選択し、設定<SET>ボタンを押します。

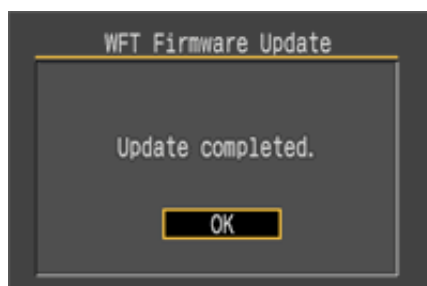
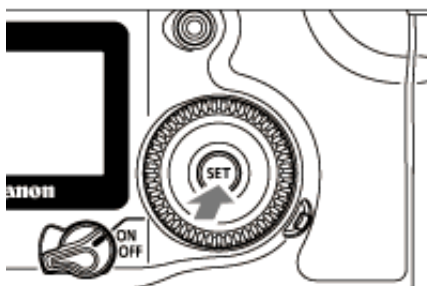
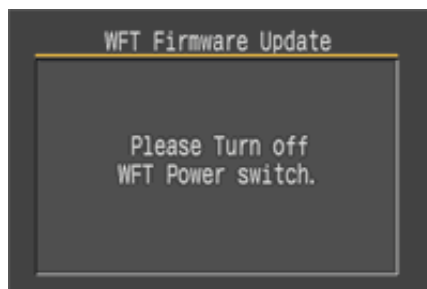
<MENU>ボタンを押してメニュー項目を表示し、サブ電子ダイヤルを回してセットアップ系（黄）メニューの「画像転送(LAN)設定」を選び、設定<SET>ボタンを押します。

画像転送(LAN)設定メニューが表示されますので、サブ電子ダイヤルを回して、「WFTファームウェア　Ver.X.X.X」を選び、設定<SET>ボタンを押します。

ファームウェアのアップデート画面が表示されます。

※ [キャンセル]を選び、設定<SET>ボタンを押すと、変更が中止されます。

※ 液晶モニターにファームウェアアップデートの画面が表示されない場合は、CF カードにファームウェア変更ファイルが正常にコピーされていません。もう一度(1)からやり直してください。

サブ電子ダイヤルを回し、<OK>を選択し、設定<SET>ボタンを押します。

ファームウェアのチェックが終了すると、現在のファームウェアのバージョン名と、これから変更するバージョン名が表示されます。

(5) 変更するファームウェアの表示を確認したら、サブ電子ダイヤルを回して[Yes]を選び、設定<SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更を開始します。

※[No]を選び、設定<SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更が中止されます。

ファームウェア変更中は、液晶モニターに次の内容が表示されます。

変更が終わると、液晶モニターに次の内容が表示されます。

(6) 設定<SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更を終了します。

(7)液晶モニターに次の表示がされますので、電源スイッチをOFFにし、電池を取り出してください。

EOS-20DとWFT-E1の電源スイッチをOFFにします。

以上で、ファームウェアの変更作業は完了です。

ファームウェアの変更に使用した CF カードは、変更作業が完了したら初期化してください。

ファームウェア変更後の確認

ファームウェアのVersionが「2.0.1」になっていれば、変更は正常に行われています。ファームウェアの確認方法は、WFT-E1とカメラを接続、電源をONにし、<MENU>ボタンを押してメニュー項目を表示します。サブ電子ダイヤルを回してセットアップ系

（黄）メニューの「画像転送(LAN)設定」を選び、設定<SET>ボタンを押します。表示される画像転送(LAN)設定メニューの中に「WFTファームウェア　Ver.X.X.X」があります。そこに表示されている番号がWFT-E1のファームウェアのVersionです。

※撮影モードは、<P>モードなどの“クリエイティブな応用撮影ゾーン”を選んでください。“簡単撮影ゾーン”では、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ファームウェアの変更に失敗した場合

再度変更操作を繰り返してください。
それでも変更できない場合は、WFT-E1又はEOS 20D に同梱の印刷物に記載してあります、「修理サービス相談窓口」にご相談ください。